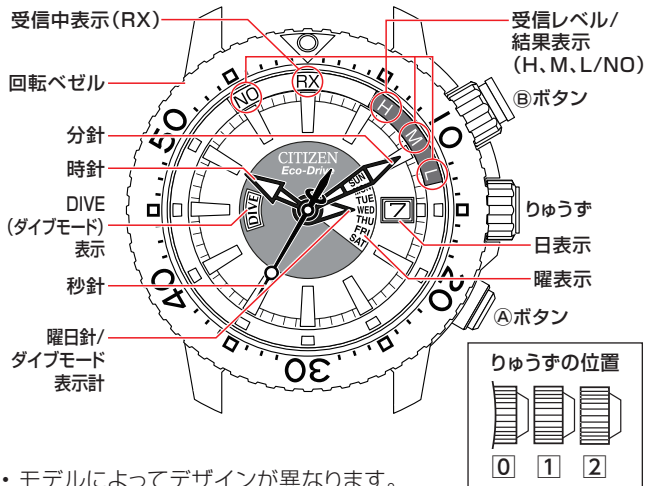


## H112 簡易操作ガイド

- ・この時計はソーラーパワーウォッチです。文字板を光に当てて、十分に充電された状態でお使いください。
- ・充電時間 / 仕様 / 操作の詳細は、取扱説明書をご参照ください。

 H112取扱説明書

### 各部の名称



- ・モデルによってデザインが異なります。
- ・スケールやベゼルについて、詳細は取扱説明書や、サイトの外装機能についてのページ (<http://citizen.jp/cs/guide/gaiso/index.html>) をご参照ください。

### 受信結果を確認する

- ・この時計は、標準電波を毎日午前2時に受信し、時計 / カレンダーを自動で合わせます。午前2時に受信できなかったときは、午前4時に再度受信を試みます。

#### 1. りゅうずの位置を0にする

#### 2. Aボタンを押す

秒針が、受信結果 (「H」「M」「L」または「NO」) を指します。

表示	受信結果
H	非常に良い環境で電波を受信中または受信したとき。
M	良い状態で電波を受信中または受信したとき。
L	良くない状態で電波を受信中または受信したとき。
NO	受信に失敗したとき。 (手動で受信を行ってください)

- ・モデルによって、秒針の「先の部分」で指すものと「尾の部分」で指すものがあります。
- ・「H」、「M」、「L」の表示は、受信環境の適性を示すもので、時計の受信性能には関係はありません。
- ・受信結果を表示して10秒間経過すると、自動で時刻表示に戻ります。Aボタンを押すと、すぐに戻ります。
- ・電波を正しく受信しても、受信環境や時計内部処理により、時刻表示にわずかなずれが生じます。

### 電波を手動で受信する(強制受信)

- ・電波を受信するときは、ダイブモード(DIVE)がOFFになっていることを確認してください。(「ダイビング終了後は」を参照)

#### 1. りゅうずの位置を0にする

#### 2. Aボタンを3秒間以上押し続ける

- ・秒針が前回の受信結果 (「NO」、「H」、「M」、「L」) を指したあと、「RX」に移動して停止します。
- 受信に成功した場合: 修正された時刻を表示します。
- 受信に失敗した場合: 時刻は修正されず、現在の時刻に戻ります。
- ・受信を中断したいときは、各針が高速で回り始めるまでAボタンを押し続けます。

### 時差機能を使う

時差を設定することで、時刻合わせをすることなく、他の地域の時刻を表示させることができます。

- ・現在の表示時刻を基準に、±27時間の範囲(1時間単位)で時差を設定します。

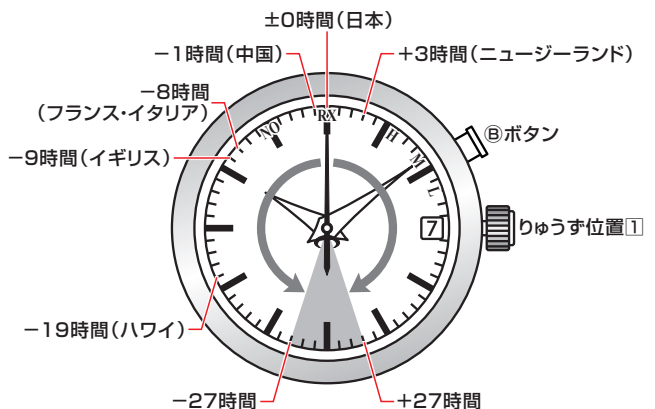
#### 1. りゅうずの位置を1にする

秒針が年、月を指します。

#### 2. Bボタンを押す

秒針が現在の時差設定を指します。

#### 3. りゅうずを回して、時差を設定する



- ・秒針が0秒を指しているときが、時差±0です。

#### 4. りゅうずの位置を0にして、終了する

### ダイブモードを使う

- ・電波受信機能による針の停止を避けるために、ダイビングの際には必ずダイブモードをONにしてください。

#### 1. りゅうずの位置を0にする

#### 2. Bボタンを7秒間以上押し続ける

ダイブモード表示針がDIVEを指し、ダイブモードがONになります。



### ダイビング終了後は

ダイビング終了後は、必ずダイブモードをOFFにしてください。

#### 1. りゅうずの位置を0にする

#### 2. Bボタンを7秒間以上押し続ける

ダイブモード表示針が現在の曜日を指せば、ダイブモードはOFFです。

## カレンダーを手動で合わせる

・この時計のカレンダーは、うるう年を含む2100年2月28日まで、修正不要です。(パーペチュアルカレンダー)

### 1. リゅうずの位置を①にする

現在設定されている年と月が、秒針で表示されます。

### 2. ④ボタンを押す

日表示が合わせられるようになります。

・④ボタンを押すごとに、「日表示」→「曜」→「年、月」と修正対象が切り替わり、日表示、曜日針、秒針がそれぞれ動いて修正対象を示します。

### 3. リゅうずを回して、日表示を合わせる

### 4. ④ボタンを押す

曜が合わせられるようになります。

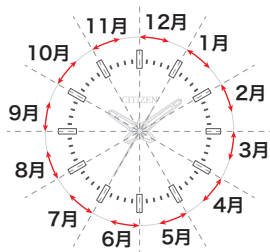
### 5. リゅうずを回して、曜を合わせる

### 6. ④ボタンを押す

年と月が合わせられるようになります。

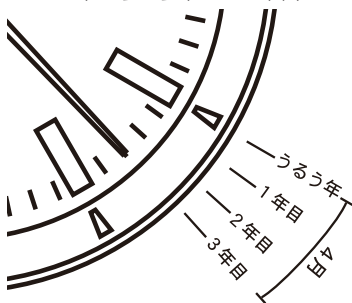
### 7. リゅうずを回して、年と月を合わせる

・月は、時刻の「時」の範囲で示されます。



・年は、うるう年からの経過年数で表示され、各月の範囲内での秒針の位置で示されます。  
うるう年からの経過年については、サポートの「仕様・機能・購入」から、うるう年経過年早見表をご参照ください。  
<http://citizen.jp/cs/guide/index.html>

(例)2015年4月に合わせるときは  
4月→4時の範囲  
2015年→うるう年から3年目



・リゅうずを素早く回転させると、秒針が連続して動きます。  
リゅうずを少し回すと止まります。

### 8. リゅうずの位置を②にする

現在の時刻に戻ります。

## 時刻を手動で合わせる

### 1. リゅうずの位置を②にする

秒針が0秒を指します。

### 2. リゅうずを回して、時刻を合わせる

時針、分針、秒針が動きます。

・リゅうずを素早く回転させると、各針が連続して動きます。  
リゅうずを少し回すと止まります。  
・日表示と曜が切り替わったときが午前0時です。午前/午後を間違えないよう注意します。

### 3. 時報に合わせて、リゅうずの位置を③にする

すべての針が動きはじめます。

## 基準位置を確認する

### 1. リゅうずの位置を①にする

### 2. 秒針が高速で動き始めるまで、⑥ボタンを5秒間以上押し続ける

各針 / 表示が動き出し、現在の基準位置が表示されます。  
(最大7分)

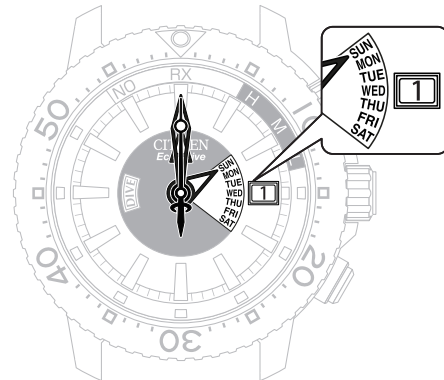
#### ・正しい基準位置:

すべての針が12時位置、  
日表示が「1」、  
曜表示が「SUN」

現在の基準位置が正しい基準位置と異なるときは、「基準位置を修正する」に従って、基準位置を修正します。

### 3. リゅうずの位置を③にして、確認を終了する

時刻表示に戻ります。



## 基準位置を修正する

### 1. リゅうずの位置を①にする

### 2. 秒針が高速で動き始めるまで、⑥ボタンを5秒間以上押し続ける

各針 / 表示が動き出し、現在の基準位置が表示されます。  
(最大7分)

### 3. リゅうずの位置を②にする

秒針が0秒を指し、基準位置が合わせられるようになります。

### 4. ④ボタンを押す

曜表示の基準位置が合わせられるようになります。

・④ボタンを押すごとに、修正対象が「曜表示」→「針」→「日表示」と切り替わり、針/表示が少し動きます。

### 5. リゅうずを回して、各基準位置を合わせる

曜表示を「SUN」、時刻を「0時0分0秒」、日表示を「1」に合わせます。

・リゅうずを素早く回転させると、時針が連続して回転します。  
リゅうずを少し回すと止まります。

### 6. リゅうずの位置を③にする

各針と日表示、曜表示が現在の時刻表示に戻ります。